

病態・治療・看護・地域連携までを網羅！

脳梗塞 とことん深掘り完全ガイド

プランナー：平野照之 杏林大学医学部脳卒中医学・脳神経内科学教授

特集

脳梗塞診療は、発症直後の一刻を争う対応から、再灌流後の全身管理、再発予防、退院支援、生活再建まで、切れ目なく続いています。そのなかで看護師は、患者さんのいちばん近くでわずかな変化をとらえ、治療を安全に支え、不安のなかにいる患者さん・ご家族に寄り添う存在です。だからこそ、病態や治療を理解することはもちろん、「いま何が起きているのか」「次に何を備えるべきか」を考えながらかわる力が求められます。本特集では、病態、診断、急性期治療、薬物療法、後遺障害への支援、地域連携までを1冊で整理し、症例を通して日々の看護実践に結びつく知識を学べる構成としました。脳梗塞看護の「なぜ」と「どうする」がつながり、日々のケアをより確かなものにする内容です。

1章 脳梗塞の分類と初期評価

1 脳梗塞が起こる理由とそのメカニズム

坂本悠記 日本医科大学 脳神経内科 准教授

2 脳梗塞の分類

坂本悠記 日本医科大学 脳神経内科 准教授

3 病型別の特徴とアセスメントのポイント

田中瑛次郎 京都府立医科大学 脳神経内科 助教

①ラクナ梗塞(軽症にみえて落とし穴が多い)

②アテローム血栓性脳梗塞(進行性悪化)

③心原性脳塞栓症(突然・重症・広範囲)

4 TIAを見逃さない

貴田浩之 東京慈恵会医科大学 脳神経内科 助教

5 梗塞部位と神経症候

貴田浩之 東京慈恵会医科大学 脳神経内科 助教

2章 脳梗塞の診断と評価

1 診断の流れと看護師の役割

廣末美幸 藤田医科大学病院 FNP室 副室長

2 発症時刻と初期症候の評価

廣末美幸 藤田医科大学病院 FNP室 副室長

3 NIHSSで症候の変化をつかむ

田中弘二 藤田医科大学病院 脳卒中科 准教授

4 脳梗塞の画像診断

高下純平 藤田医科大学病院 脳卒中科 准教授

3章 脳梗塞の急性期治療と看護

1 脳梗塞の治療方針はこう決まる

吉江智秀 国立循環器病研究センター 脳血管内科 医長

2 血栓溶解療法(rt-PA)

吉江智秀 国立循環器病研究センター 脳血管内科 医長

【Column】新規血栓溶解薬 テネクトプラザーゼへの期待

吉江智秀 国立循環器病研究センター 脳血管内科 医長

広告締切

申込締切日：2026.11.2 版下出版社必着：4C 2026.11.2 1C 2026.11.16 綴込 2026.11.19

広告料

(税抜き)

掲載面	刷色	スペース	料金	サイズ(mm)
表4(カバー)	カラー	1頁	250,000	195×162 【枠野あり】
記事※	カラー	1頁	160,000	257×182【断ち切り】
記事※	1色	1頁	80,000	220×150
記事※	1色	1/2頁	50,000	105×150
綴込		1枚	100,000	仕上がり天地左右3mm タチシロありの印刷物

※掲載場所指定は20%増の料金となります(記事カラーのみ対応)。

● 広告原稿は完全データをお願いします。 ※ 広告掲載前に審査がございます。事前に広告内容をお知らせください。

● 入稿の際は、広告データ、出力見本(確認用PDF)をご準備ください。

● 広告掲載スペースには、断ち切りサイズ掲載可能スペースと、掲載不可のスペースがあります。掲載スペースとサイズをご確認ください。

● 企画内容が変更になる場合があります。

(株)メディカ出版 総広告代理店

株式会社 メディカ・アド

〒105-0013

東京都港区浜松町1-12-9 第一長谷川ビル2F

TEL: 03-5776-1853 FAX: 03-5776-1854

担当: 営業部

43 巻 1 号 (2026.12.20 頃発売予定 発行 11,000部 約 140 ページ B5判)

脳神経外科看護専門誌

ブレインナーシング

2027.1 号

3 脳血管内治療

4 外科的治療

5 再灌流後の全身管理と脳保護

6 抗血栓薬の開始タイミングをどう決めるか

4章 再灌流後の経過と再発予防

1 再灌流後の脳はこう変わる

2 再発予防のリスクファクター

3 退院後の治療薬とアドヒアランス

4 生活習慣の改善と行動変容を促すコツ

5章 脳梗塞の退院支援と回復期・生活期のケア

1 退院支援と地域連携

2 脳梗塞の後遺障害へのケア・支援

【Column】脳卒中ケアは地域でつなぐ時代へ

6章 症例で学ぶ脳梗塞 病型→治療→看護→家族支援

Case 1 広範梗塞でDOAC開始が悩ましい患者(心原性脳塞栓症)

Case 2 じわじわ悪化するアテローム・ICAS

—変化を見逃さない看護とDAPTの使いどころ

(アテローム血栓性脳梗塞)

Case 3 出血性転化が心配な広範梗塞

—抗血栓薬をいつ再開するか(抗血栓薬再開)

Case 4 腎機能低下でワルファリンを選ぶ場面

—なぜDOACではないのか(DOAC vs ワルファリン)

Case 5 急性期に予後を問われる家族

—伝えすぎず、希望も残す説明のコツ

榎本由貴子 岐阜大学医学部 脳神経外科 講師・臨床准教授

榎本由貴子 岐阜大学医学部 脳神経外科 講師・臨床准教授

中島 誠 熊本大学医学部 脳神経内科 特任教授

古賀政利 国立循環器病研究センター 脳血管内科 部長

伊澤良兼 慶應義塾大学 内科学(神経)教室 准教授

星野岳郎 東京女子医科大学 脳神経内科 講師

竹川英宏 獨協医科大学病院 脳卒中センター センター長

竹川英宏 獨協医科大学病院 脳卒中センター センター長

城倉 健 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 病院長

近藤国嗣 東京湾岸リハビリテーション病院 院長

和田邦泰 熊本市市民病院 脳神経内科 部長

城野喬史 山口大学大学院 臨床神経学講座 助教

佐々木佑太 小山記念病院 脳神経外科

中西 郁 杏林大学医学部 脳卒中医学教室 助教

佐藤健朗 国立病院機構 鹿児島医療センター 脳・血管内科

薬師寺祐介 関西医科大学 脳神経内科 診療部長・診療科長・主任教授

読者ターゲット

脳神経外科看護スタッフはじめ研修医、専門医、リハビリ担当スタッフ

ADポイント

急性期からリハビリまで、幅広い関わりを持つナースが看護機器を実質、選定しています。

広告締切

申込締切日: 2026.11.2

版下出版社必着: 4C

2026.11.2

1C

2026.11.16

繰込

2026.11.19

広告料

(税抜き)

掲載面	刷色	スペース	料金	サイズ(mm)
表4(カバー)	カラー	1頁	250,000	195×162 【枠罫あり】
記事※	カラー	1頁	160,000	257×182【断ち切り】
記事※	1色	1頁	80,000	220×150
記事※	1色	1/2頁	50,000	105×150
綴込		1枚	100,000	仕上がり天地左右3mm タチシロありの印刷物

※掲載場所指定は20%増の料金となります(記事カラーのみ対応)。

● 広告原稿は完全データでお願いします。 ※ 広告掲載前に審査がございます。事前に広告内容をお知らせください。

● 入稿の際は、広告データ、出力見本(確認用PDF)をご準備ください。

● 広告掲載スペースには、断ち切りサイズ掲載可能スペースと、掲載不可のスペースがあります。掲載スペースとサイズをご確認ください。

● 企画内容が変更になる場合があります。

(株)メディカ出版 総広告代理店

株式会社 メディカ・アド

〒105-0013

東京都港区浜松町1-12-9 第一長谷川ビル2F

TEL: 03-5776-1853 FAX: 03-5776-1854

担当: 営業部

◇この内容は、弊社ホームページ内の「掲載可能な専門誌一覧(<https://www.medica.co.jp/ad/>)」からダウンロードできます。